

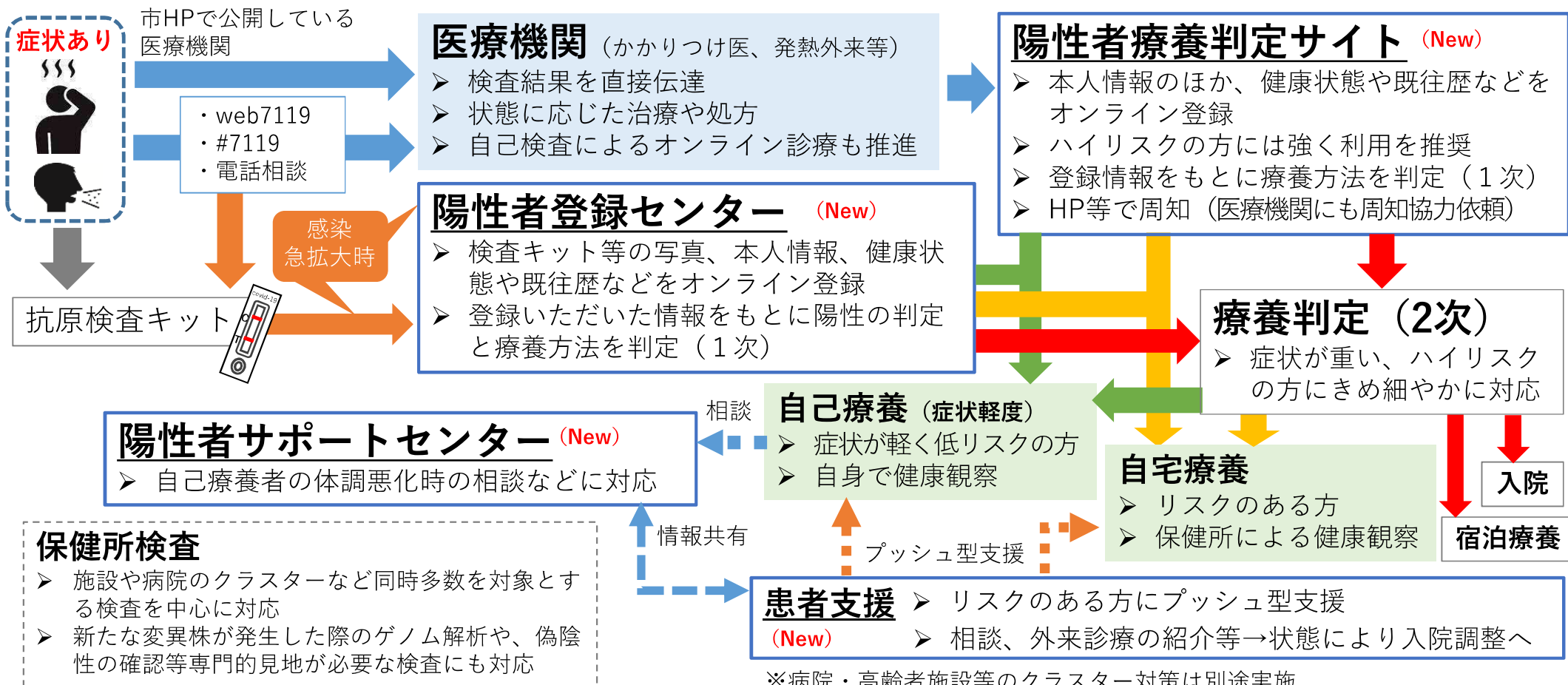
第7波に向けた対策

環境変化

- ✓ 弱毒・感染力強の変異株
- ✓ 治療薬（経口薬等）の普及
- ✓ 隔離から治療へのシフト

第7波に向けた対策

- 速やかな医療アクセスの確保
- 爆発的な感染拡大時にも滞らない体制



中和抗体薬（点滴薬）・経口薬の治療実績

令和4年4月15日
保健福祉局保健所

(1) 中和抗体薬（ゼビュディ）の治療実績

	3月14日	4月11日
入院受入医療機関の34病院（41病院のうち40病院登録済み）	817	961(+144)

※ オミクロン株にも効果のあるゼビュディの活用体制の強化を図っている

(2) 抗体カクテル療法（ロナプリーブ）の治療実績

	3月14日	4月11日
入院受入医療機関の39病院（41病院中）を含む40か所の医療機関等	516	516

※オミクロン株に対しては、中和活性が低下することから投与が推奨されていない（厚労省）

(1) + (2) 中和抗体薬（点滴薬）の治療実績 合計 1,477人(+144)

(3) 経口薬（ラゲブリオ）の治療実績

	3月14日	4月11日
入院受入医療機関の28病院（41病院のうち41病院登録済み）を含む医療機関等	1,186	1,802(+616)

(4) 経口薬（パキロビッド）の治療実績

	3月14日	4月11日
入院受入医療機関の9病院（41病院のうち40病院登録済み）を含む医療機関等	22	46(+24)

(3) + (4) 経口薬の治療実績 合計 1,848人(+640)

経口治療薬の処方体制について

令和4年4月15日
保健福祉局保健所

ラゲブリオ（モルヌピラビル） ※令和3年12月24日に特例承認

- ・対象患者は、重症化リスクのある、18歳以上の方
- ・国内で160万回分を供給（全国との人口比から札幌市分として約2万5千回分）
- ・**処方体制は、入院受入医療機関を中心に、院外処方も広く対応している。**

〔入院受入医療機関〕（41病院）

入院患者等に院内処方

	3/14時点	4/11時点
登録数	39	41(+2)
投与数	352	435(+83)

〔発熱外来など〕

診察を行い、「対応薬局」にて処方

	3/14時点	4/11時点
登録数	222	227(+5)
投与数	834	1,367(+533)

〔対応薬局〕

経口治療薬を扱う薬局の更なる拡大を図り、供給体制を強化した。
市内327か所に在庫配置済



パキロビッド（ニルマトレルビル） ※令和4年2月10日に特例承認

- ・対象患者は、重症化リスクのある、成人と12歳以上で体重40kg以上の小児
- ・国内で200万回分を供給（全国との人口比から札幌市分として約3万1千回分）
- ・**処方体制は、入院受入医療機関を中心に、院外処方は一部の薬局のみの取扱い。**

※ 併用不可医薬品が約40種類ある。

〔入院受入医療機関〕（41病院）

入院患者等に院内処方

	3/14時点	4/11時点
登録数	39	40(+1)
投与数	22	46(+24)

〔対応薬局〕

取扱い薬局として市内3か所の薬局が国の選定を受けた。

